

○ 草の根パートナー型

パートナー型フォローアップ案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	東ティモール
2. 事業名	「みんなサウダベル」健康村プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	2000年より開始したプライマリ・ヘルスケア（以下、PHC）普及促進活動は、ラウテン県北部を中心とした7ブロック（地域）においてコミュニティ・ヘルスワーカーを養成し、地域住民の保健への意識向上や一般疾患への予防や対処に貢献してきた。さらに先行プロジェクトでは、地域住民組織が設立され、トイレ設置や石鯨生産による収入創出を通して住民の生活環境の改善がみられ、「対象地域の住民が、自らの力で疾病への予防・対応ができるようになる」というプロジェクト目標は概ね達成できた。一方で「対象地域の住民が衛生的で健康的な生活を営むことができる」という上位目標達成のために、住民組織の機能・能力が強化され、政府保健行政のイニシアチブ強化を支援することが求められている。
4. プロジェクト目標	対象地域の住民が衛生的で健康な生活を営むことができる。
5. 対象地域	東ティモール民主共和国ラウテン県 医療機関にアクセスが困難な県全体の4分の3にあたる村落（ラウテン県第1～第7ブロック）
6. 受益者層（ターゲットグループ）	ラウテン県住民（約60,000人のうち、医療機関へのアクセスが困難な約40,000人）
7. 期待されるアウトプット及び活動	<p>1. （活動）SISCa（村落における保健活動拠点）支援、KUBASA（全世界の環境衛生調査活動）支援、PSF（保健ボランティア）の能力向上、クリニック活動の継続 ⇒（アウトプット）住民が衛生的で健康な生活を理解し実践できるようになる</p> <p>2. （活動）FINI（「生活保健助け合いの会」代表者会議）活動支援、小学校における保健教育、CLTS（コミュニティ主導の全村環境衛生活動）支援と総合的衛生モデル村の形成 ⇒（アウトプット）住民組織の機能と能力が強化され、他の地域でも活用される</p> <p>3. （活動）KUBASAとの連携、地方保健行政との共同学習と提言、クリニックの行政への委譲、DHS（県保健局）スタッフ研修支援 ⇒（アウトプット）地域保健行政のイニシアチブが強化される</p>
8. 実施期間	2011年3月から2013年2月（2年間）
9. 事業費概算額	27,901千円
10. 事業の実施体制	ラウテン県保健局と連携により、東ティモール医療友の会（AFMET）東ティモール事務所が活動主体となる。AFMET東京事務局・運営委員・協力者がサポートを行う。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 東ティモール医療友の会（AFMET）
2. 活動内容	東ティモールにおいて、プライマリ・ヘルスケアの理念に基づき、地域住民が自立して疾病への適切な対応、予防、さらに健康的な生活が営めるよう、ラウテン県で衛生教育・診療・搬送の機能をもつリファラルセンターを運営している。